

Wish

vol. 47
2015年9月号



絵本の読み語りに目を輝かせる子どもたち
写真提供：ミンダナオ子ども図書館

CONTENTS

EVENT FOCUS

2-5 七夕セミナー / ユニセフ入門講座
第3回国際理解講座 / ユニセフ国際セミナー

6-7 活動ファイル
2015年4月～8月

8 お知らせ



七タセミナー

ユニセフができること

七タセミナーは、四国・中国・近畿地方にある7つのユニセフ協会が共催する合同研修会です。講演会では久木田さんの強い信念のもとに続けてこられたユニセフへの思い、活動についてお話を伺いました。

国連で働いた30年

久木田さんは、自分は何のために生きているのかと自問自答するうちに、果たすべき使命は「自分も成長し共存共栄できる社会」の達成と考えるようになり、それを目指して人生計画を立てているときに、国連を目指すことに決めたとそうです。

30歳で外務省のJPO試験に合格。世界中の子どもたちが、健康に育ち教育を受けられることで、貧富の差や環境問題などの世の中の問題はほ



兵庫県ユニセフ協会では、未来を担う子どもたちが笑顔になることを願って、いろいろな活動をしています。今回は4つのイベントに焦点をあてて紹介します。

ば解決するだろうと信念を持ち、ユニセフを選び、途上国・ニューヨーク・東京で30年間活動してこられました。

ユニセフの役割と使命

ユニセフの事業には、子どもの成長に合わせて行う取り組み「ライフ・サイクル・アプローチ」があり、大きな成果を生んでいます。

たとえばヨード欠乏症。一生涯に必要なヨードの量は親指の先ほどでいいのですが、欠乏すると成長ホルモンが作られないので、胎児の成長のために妊婦のうちからの摂取が必要です。そこで塩に添加しました。現在では多くの国々でヨード添加塩が使われるようになりました。また、下痢症の治療に使われる経口補水塩の効果は1970年代には分かっていたましたが、世

界的に広がっていませんでした。そこで、ユニセフは工場を造り、5円や10円で手に入るようにしました。

問題を見つけたら、一つひとつの問題を分析し、原因を追究し、子どもの人生のどの時期に何をなすべきかを考え、世界に広めていきます。これが国際機関の役割、使命と話してくださいました。

現場での仕事を遂行するために

久木田さんは、新しい国に赴くと、そこでのユニセフの役割は何か、どういうパートナーシップでどういう人たちが協力してくれるのか、どれくらいお金が要るのかなどを考慮し事業を行うそうです。事例をあげながら、政策を提言し、政府に協力を求めた上

での資金調達が必要となります。いくら素晴らしいプログラムと技術をもっていても、資金が無くては現場で仕事はできません。一人ひとりの善意、ユニセフを信じて託してくださいっている募金が大きな役割を果たしています。

これからの目標は、グローバル社会で活躍する人材を育てることだそうです。



Event Data イベントデータ

日時：7月4日(土)

会場：神戸市立海外移住と文化の交流センター

参加者：75人



久木田 純さん

元国連職員。現在国連フォーラム共同代表。神戸大学大学院非常勤講師など。

* JPO：外務省が主催し、若手日本人に準専門職職員として原則2年間国連機関に勤務する機会を与える制度。

Event Data イベントデータ

日 時：6月27日(土)
会 場：コープこうべ生活文化センター
参加者：27人



たけひと
野田 岳仁さん

NPO 法人 Waterscape 代表。
2003年「ユース世界水フォーラム」最高責任者。第6回日本水大賞国際貢献賞受賞。最近は企業の社会貢献活動のサポート、子どもたちへのワークショップなどを実施。



ユニセフ入門講座 ② お水の教室

今回の入門講座では「お水の教室」という学習プログラムを体験しました。同時に展示コーナーにおいて「1ℓ for 10ℓ」プログラムのパネル展が開催されました。

「お水の教室」

ユニセフは世界の多くの地域で安全な水を確保するために井戸を作り、そのメンテナンスをする水と衛生の活動をしています。フランスのナチュラルミネラルウォーターブランド・ボルウィックは「1ℓ for 10ℓ」プログラムでアフリカのマリ共和国におけるこの活動を支援しており、世界の水問題への関心を高めてもらうためにNPO法人 Waterscapeと共に「お水の教室」を展開しています。

はじめに日々の生活の中で使う水の量を見直し、地球上に存在するすべての水の0・007パーセント。日本で1日に使う家庭用水は250ℓなのに対し、マリでは20ℓということ。次にペットボトルと石、炭などで簡単なろ過装置を作り、泥水をろ過してみました。この実験によって、井戸で汲み上げる地下水がきれいなのは地層によってろ過されるからだとわかりました。最後はカルタゲームをして、私たちのくらしと水の関わりや問題点に気づき、解決策を地域ぐるみで考えることを学びました。

野田さんが国内外の水辺を歩いて得た水と人との関わり方のヒントが取り入れられた教材には、子どもたちが自発的に考え、伝えたいと思うような工夫があちこちにありました。

ここで学んだことを多くの人に伝え、生活者の立場から実践していくことが社会を変えることになる、というのが野田さんからのメッセージでした。

マリ共和国の水問題と井戸のちから

マリですべての人々が清潔で安全な水にアクセスするのは大変難しいことです。地面に掘った穴にたまった不衛生な水を汲んでいる所が多いのです。井戸の数は少ないので、遠くの井戸まで水汲みに行く子どもたちは学校へ通うことができません。改善のためにはもっとたくさん深い井戸を掘り、フィルターとポンプをつける必要があります。設備のメンテナンスと運営を行う人材の育成も必要です。

井戸ができることで学校へ通える子どもたちが増えました。学校にも井戸ができると、

子どもたちはいつでも水が飲めるし、きれいな水で手洗いやうがいをする習慣が身に付き、メジナ虫病や下痢などの病気の予防ができて、衛生教育にもつながっています。

学校で水の大切さを学んだ子どもたちは家庭でもその話をするようになります。その話を聞いた親たちは学校に関心を持つようになり、そこから地域と学校とのつながりが生まれ、コミュニティが水の管理をするようになります。

きれいな水があることで生活が改善されるだけでなく、地域全体が元気になっていくのです。



井戸を使う子どもたち



絵本の読み聞かせをする若者と聞く子どもたち

3

第3回国際理解講座 ミンダナオ子ども 図書館での活動

Event Data イベントデータ

日 時: 7月18(土)

会 場: コープこうべ生活文化センター

参加者: 39人



松居 友さん

絵本作家。児童文学者。1953年東京生まれ。アイヌや沖縄の文化に関する著書多数。2002年「ミンダナオ子ども図書館 (MCL)」設立。2012年現地マノボ族のしゅう長に任命される。

笑顔の子どもたち。豊かな自然。

松居さんが求め続けた「本当の世界」が
ミンダナオ島(フィリピン)にはあると語られました。

お話が生きている社会

1998年。ミンダナオで孤児の施設をやっている友人がいたので、ちょっと行ってみようかと思ったんです。現地の高校生たちと山奥の村に入ると、子どもたちは裸足、芋を掘って暮らしていたんです。明るいこと。読み聞かせが始まると言葉がわからなくても楽しそうに聞くんです。それに、高校生たちの読み聞かせの上手なこと、上手を超えて「上手」。この時私は、子どもたちが昔から語ってもらって生きてきたことを、理解したんです。お話が生きている社会だということ。

村の平和を襲う 戦争・紛争・大洪水

戦争や資源をめぐる紛争が幾度も起こり、80万人もの人が難民になりました。難民キャンプへ医療や炊き出しに通ううちに、私は、子どもたちのために「ミンダナオ子ども図書館」を立ち上げました。昔、ここはジャングルでした。プランテーションができると、先住民は上へ追いやられました。子どもたちは何時

間もかけてふもとの学校へ通いましたが、70パーセントの子が切り倒されたため、雨期になると湿原は大洪水。今は、その土地に1年で収益を得られるゴムの木を植えています。お年寄りが、こう言いました。「昔は平和にやっていたね。海外の人がミンダナオ島に関心さえ持ってくれなかったら、ここは平和なんだ」と。だんだん分かってくるんですね、現地の人の願いが。

私の役目これから

ここには先住民族、イスラム教徒、キリスト教徒と宗教も言葉も文化も違う子たちがいいます。互いを尊重し、友情を分かち合っています。私は、彼らが将来の平和なミンダナオを創る力になると信じています。子どもたちが生き生きと幸せに育っていくためにはどうしたらいいか、これが私の役目です。しかし、最近、私は日本の子どもたちのことも心配しています。この子どもたちに会えば何かが変わるかもしれません。



海辺でのランチ(文化祭にて)



子どもたちと一緒にゴムの木の植林活動



1日2回の食事さえ満足に食べられないことも

Event Data イベントデータ

日 時：8月8日(土)
 会 場：神戸市立海外移住と文化の交流センター
 後 援：兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会
 協 力：NPO 法人 関西ブラジル人コミュニティ(CBK)
 参加者：70人

ファシリテーターのみなさん

神戸市立本庄中学校教諭 田中哲也さん
 神戸市立筒井台中学校教諭 桂香奈さん
 CBK ボランティア 松原ルマさん
 CBK ボランティア 橋マユミさん
 CBK ボランティア 福谷 清さん
 CBK 生徒 内山ジュリアナさん



伊木 ロドリゴさん

愛知県豊田市立保見中学校教諭。日本語教室 FERA を主宰。NHK 番組「突撃アットホーム」にて熱血先生として紹介される。



子どもたちに語るロドリゴ先生



グループトークで交流する保護者ら

Voice / 参加者の声

- 本庄中学校の外国籍の生徒に対するきめ細やかなサポートを聞いて安心しました。(大人)
- ブラジルの文化も日本の文化も大切にしながら生活されている姿勢がいいなと思いました。(大人)
- 夢は多くあればあるほど人生は楽しい!!ことが分かった。(中学生)
- 先生が子どもたちのことを心配している、その立場もよくわかってよかった。(CBK 保護者)
- 言葉が分からない分、自分の困っていることばかりが大きく見える。(CBK 保護者)
- 全く日本語が分からない状態で来日、高校に入られたジュリアナさんの姿に感動した。私も頑張らなと!! (高校生)
- 颯爽と現れたロドリゴ先生は笑顔が素敵なナイスガイでした。昨年、台風でこのセミナーは中止になりました。今年は、大きな満足感の中で終わることができました。(ユニセフボランティア)

第一部 講演「私が歩んだ道」
 関西ブラジル人コミュニティ (以下CBK) の子どもたち 30人と向き合い、ロドリゴ先生の話は始まりました。

僕がブラジルにいた時は履く靴もなかったけれど、夢はサッカー選手になることだった。10歳の時、両親と日本へ来た。言葉もわからない教室で学ぶ不安は大きかったけれど懸命に日本語を覚え、勉強を自分の夢を叶えるエネルギーに。高校進学後に白血病になった。家族の支えが生きることへの強い気持ちとなり、回復できた。サッカー選手の夢は断れたが、先生になる夢は叶えることができた。保護

はじめに、生後2カ月で来日した日系ブラジル人の松原ルマさんに学校のことCBKのポルトガル語教室のことをお話しいただきました。「自分は日本人なのか、ブラジル人なのか」と、自身に問い続けたそうです。

次に、課題別グループごとにファシリテーターからの報告をもとに話し合いに入りました。課題は、「外国籍生徒への心のケア、学力保障の取り組み」「日本で暮らす時に大切にできたこと」「夢をもち夢を語る大切さ」「外国籍保護者とのコミュニケーション」「CBKが支えてくれたこと」です。

最後に、各グループの内容を発表し、みんなで共有しました。



ユニセフ国際セミナー すべての子どもに やさしい世界を

ユニセフ国際セミナーは、子どもの権利について考える学習会です。外国籍の子どもたちにとって、日本は安心して暮らせる社会でしょうか。子どもたちが抱える問題を話し合いました。

見中学校は生徒の30パーセントが外国籍。みんないろいろ悩んでいる。だから、僕はみんなに言いたい。「夢をもつこと 努力を続けること」を。

熱血先生の話には、子どもたちの目は輝いていました。

第二部 グループトーク
「在住南米の子どもたちが抱える問題とは」

2 ネパール大地震 緊急街頭募金活動

日時 5月9日(土)

場所 JR住吉駅付近

ネパール中部で起きた地震では170万人近い子どもたちが影響を受けているとみられています。この日の募金額は約10万円となりました。ご協力ありがとうございました。



3 出前学習会

日時/訪問先 6月15日(月)有瀬児童館
8月25日(火)あさひ児童館

クイズを通して汚れたわずかな水しか使えない子どもたちのことを知り、紙芝居「井戸ができたよ」を見て、井戸ができることにより生活が向上すること、ユニセフの仕事について学びました。



4 福島の子ども保養プロジェクト in よしまキャンプ

日程 7月26日(日)～30日(木)

会場 神戸YMCA余島野外活動センター(香川県小豆島)

共催 コープこうべ、神戸YMCA、兵庫県ユニセフ協会

東日本大震災以降、4回目になる「福島の子ども保養プロジェクト in よしまキャンプ」には小学生32人が参加。子どもたちが大好きな海に囲まれた無人島で今年も実施されました。カヌー・カヤック、魚釣り、手作りのウォーター 슬라이ダー等、初めてのことにチャレンジ。ほんの数日間でたくましくなった子どもたちの数多くの思い出や仲間やリーダーたちとの出会いが、これからの「生きる力」につながることを願っています。

東日本大震災以降、4回目になる「福島の子ども保養プロジェクト in よしまキャンプ」には小学生32人が参加。子どもたちが大好きな海に囲まれた無人島で今年も実施されました。カヌー・カヤック、魚釣り、手作りのウォーター スライダー等、初めてのことにチャレンジ。ほんの数日間でたくましくなった子どもたちの数多くの思い出や仲間やリーダーたちとの出会いが、これからの「生きる力」につながることを願っています。



Activity File 活動ファイル

兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2015年4月～8月

活 動 一 覧

Activity List

学習会訪問一覧

| 月日 | 訪問先 | 対象 | 人数 |
|-------|------------|------------|----|
| 4月12日 | ガールスカウト83団 | 小学生・大人 | 18 |
| 6月15日 | 有瀬児童館 | 小学生1～3年 | 70 |
| 7月26日 | 西神戸教会 | 小学生・中学生・大人 | 40 |
| 8月25日 | あさひ児童館 | 小学生1～5年 | 80 |

地域活動一覧

| 月日 | イベント名 |
|-----------|---------------------------|
| 4月26日 | 第1回国際理解講座 |
| 5月9日 | 第2回国際理解講座 |
| 5月9日 | ネパール支援緊急募金活動 |
| 6月27日 | ユニセフ入門講座 |
| 6月24日～30日 | 「10 for 10」プログラムパネル展 |
| 7月4日 | ユニセフ七夕セミナー |
| 7月11日 | コープこうべ第3地区平和を願うつどい |
| 7月18日 | 第3回国際理解講座 |
| 7月25日 | 西宮市メダカの学校 |
| 7月28日 | コープこうべ大阪北地区平和のつどい |
| 7月26日～30日 | 福島の子ども保養プロジェクト in よしまキャンプ |
| 8月4日 | 三木緑が丘コープ委員会平和のひろば |
| 8月8日 | ユニセフ国際セミナー |
| 8月22日 | 地球のステージ |
| 8月29日 | コープこうべ第4地区平和のつどい |

※インターン生受入 兵庫県立伊丹北高等学校

1 第1回国際理解講座 「すべてのいのちはたからもの」

日時 4月26日(日)

会場 神戸栄光教会

出演 早川千晶さん リリアンさん 大西匡哉さん

参加者 74人

今年もケニア・ナイロビのマグソスクールから、早川さんたちをお招きしてトーク&ライブが行われました。トークでは笑いと涙のお話が、ライブではエネルギッシュなアフリカ音楽が響き渡りました。



5 第2回国際理解講座 「今、だからネパール」

講師 (公財) PHD 協会、ネパール支援団体 SPEC
日時 5月9日(土)
会場 コープこうべ生活文化センター
参加者 40人



スカイプによる交信の様子

4月25日にネパールを襲った大地震をうけ、これまでもネパール支援をしてきた団体の方々から現地の様子を伺いました。

PHD 協会はアジア・南太平洋地域の研修生を受け入れ、日本で学んだ農業、保健衛生などの知識を帰国後それぞれの地域で生かせるよう支援しています。今期研修生3人のうち1人はネパールの出身で、今の複雑な心境を語ってくださいました。また、子どもの自立支援をしてきた SPEC の現地スタッフからは、スカイプを利用した現状報告があり、会場からの質問にもリアルタイムで答えていただきました。がれきの中に放置されている家畜の死骸からの病気も懸念されること、多くの学校が壊れ、子どもの教育が心配なことなどが伝えられました。

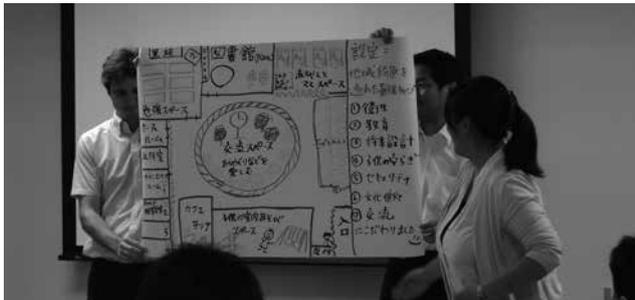
両団体とも、今後は資金や物資だけでなく人々に元気を届けられるような支援をしていきたいということでした。

6 ユニセフキャラバンがやってきた

日時 / 訪問先

6月2日(火) 兵庫県庁、兵庫県県民会館

6月3日(木) 神戸市立夢野の丘小学校、神戸市立電が台中学校



子どもにやさしい空間のデザインを発表する学校の先生方

1979年の国際児童年から続いているユニセフキャラバンキャンペーンは、ユニセフ活動への理解と支援を求める活動です。各都道府県で実施され、約4年で全国を一巡します。今年はその4年に1度の年、兵庫県にやってきました。

1日目、キャラバン隊は知事や教育長への表敬訪問の後、先生方を対象とした「ユニセフ研修会」を行いました。ユニセフが力を入れている「子どもにやさしい空間」について、ワークショップを通して考察を深めました。

2日目は学校を訪問し児童・生徒を対象に「ユニセフ教室」を開催。子どもたちは、DVD「シュヌンシュヌン」を見た後、世界の子どもたちを取り巻く厳しい状況、汚れた水によって多くの命が奪われている現状を学習し、ネパールで実際に使われている水がめ運びの体験も行いました。

7 兵庫県ユニセフ協会学生ボランティアグループ 「ユニーズ」OB 報告会

会場 コープこうべ生活文化センター

「ユニーズ」は、未来を探る若者たちの心地よい居場所。ここを飛び立った2人の報告会を行いました。

高須知穂さん

5月30日(土)

高校生の時、ユニセフのつどいに参加し、国際平和に貢献したいという思いから、80カ国からの留学生が40%を占めるという大学に進みました。世界各国の女性が中東の平和を願いつつ自転車を走らせる活動「Follow the Women」に参加した時には、それぞれの国の違った文化を肌で感じました。リトアニアでの留學生活では、その国の歴史から異文化を理解すること、自分の価値観を基準に判断しないことが重要と学びました。

これからの1年間は、アメリカのカレッジで、学生として、また日本語講師として生活します。今後につながる一歩にしたいと思っています。

本田悠里さん

7月25日(土)

高校生の時に国際協力に興味をもち、大学ではユニーズのメンバーになるとともに NGO でも活動しました。卒業後は青年海外協力隊に参加し、アフリカのジブチ共和国に2年間派遣されました。任された仕事の一つが難民キャンプでの「おみやげプロジェクト」でした。そこで暮らす女性が自らの能力を発揮し、持続可能なプロジェクトにしていこうと力を注ぎました。

多くの女性は読み書きができず、何に対してもできないと思いこむところがあり、読み書きは生きていく力だという思いを強くしました。日本人の私には、立ちどころ文化・宗教の壁は大きく、異文化理解の難しさを痛感しました。

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

| 通信欄記載事項 | 振替口座 | 手数料 |
|-----------|---------------|-----|
| K1-280 兵庫 | 00190-5-31000 | 免除 |

■ 緊急・復興募金

| | 通信欄記載事項 | 振替口座 |
|---------|-------------------|---------------|
| ネパール大地震 | ネパール K1-280 兵庫 | 00190-5-31000 |
| エボラ出血熱 | エボラ K1-280 兵庫 | 00190-5-31000 |
| シリア | シリア K1-280 兵庫 | 00190-5-31000 |
| アフリカ | アフリカ K1-280 兵庫 | 00190-5-31000 |
| 自然災害 | 自然災害 K1-280 兵庫 | 00190-5-31000 |
| 人道支援 | 人道支援 K1-280 兵庫 | 00190-5-31000 |

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
*手数料免除

あなたもボランティア! Volunteer

ユニセフという言葉は知っているけれど、どんな活動をしているんだろう。世界の子どものために、私のできることはなんだろう。「できる人が できる時に できることを」活動しています。お気軽にご連絡ください。

Wish^{ユニセフ兵庫ニュース} vol.47

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2015年(平成27年)9月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081

神戸市東灘区田中町5-3-18

コープこうべ生活文化センター 4F

電話：078-435-1605

FAX：078-451-9830

(お問い合わせは平日の10:00～16:00)

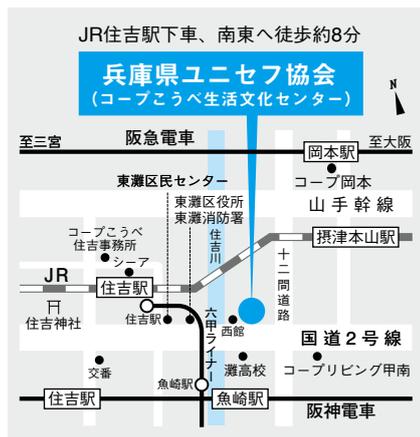
●最新の情報はホームページで

<http://www.office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫県ユニセフ協会

検索

●兵庫県ユニセフ協会への案内図



Join Us 主催イベント

講師の都合により予定を変更する場合があります。詳細はHPをご覧ください。

平和講演会

戦後70年にあたり
喪失体験と日本人のもつ再生力

日時 10月4日(日) 13:30～15:30
会場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)
講師 高木慶子さん
上智大学特任教授、上智大学グリーンフェア研究所特任所長、「生と死を考える会全国協議会」会長。



第37回 ユニセフ ハンド・イン・ハンド街頭募金活動

日時 12月5日(土)、6日(日)、23日(水・祝) 11:00～13:00(予定)
会場 姫路・加古川・名谷・元町・三宮・住吉・西宮・伊丹・宝塚など

ハンド・イン・ハンドは誰もができる募金活動です。世界の子どものために、ご都合の良い日・良い場所で、一緒に募金活動をしてみませんか。詳しくは事務局まで。

第5回国際理解講座

イスラム国の台頭～取材映像で見るシリア・イラク北部は今

日時 9月19日(土) 13:30～15:30
会場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)
講師 アジアプレス 玉本英子さん

第6回国際理解講座

テロ、世界、日本... 私は捕まらない

日時 11月28日(土) 13:30～16:00
会場 コープこうべ生活文化センター(神戸市東灘区)
講師 拓殖大学国際学部教授 甲斐信好氏
ジャーナリスト 大津司郎氏

2015国際理解講座は、兵庫県ユニセフ協会、日本国際連合協会兵庫県本部が共催し、公益信託兵庫県婦人会館ユネスコ基金の助成を受けて行っています。



お申込み、お問い合わせ先

事務局 078-435-1605

News お知らせ

きょうどう学苑祭でユニセフバザーを行います

日時 10月24日(土) 10:00～15:00
会場 協同学苑(三木市)

バザー品の提供をお願いします。一品が子どもたちの笑顔につながります。

ユニセフのつどい

2016年3月6日(日) 第14回ユニセフのつどいを行います。ご予約ください。

Booth 出展参加

| | |
|------------------|------------------------|
| 10月24日(土) | 姫路市医師会看護専門学校文化祭 |
| 11月7日(土) | にしのみやふるさとウォーク2015 |
| 11月8日(日) | 2015ユニセフカップ西宮国際ハーフマラソン |
| 11月14日(土)～15日(日) | 兵庫県ふれあいの祭典(淡路市ワールドパーク) |

出展ブースでは、ユニセフが現地で実際に使用している支援物資の展示、クイズ、ゲーム、資料の紹介などを予定しています。

ユニセフひょうごサポーター



賛助会員募集中

賛助会員となって、兵庫県ユニセフ協会の活動を支援してください。お申し込み、お問い合わせは事務局までお願いいたします。

ユニセフ出前学習会



学習会の講師派遣を行っています。お気軽にお問い合わせください。